

## 2021年度 第7回理事会次第

日時：2022年3月13日（日）10:00～

会場：千葉県社会福祉士会事務局会議室

ZOOM 会議

### 1. 出席者及び資料の確認

### 2. 開会

### 3. 会長挨拶

### 4. 議題

#### （1）会長と三役会からの報告

- ・事務局職員採用試験結果報告について
- ・関東ブロック連絡協議会報告について
- ・迷惑メール（なりすましメール）への対応について
- ・第3回経営戦略会議報告について

#### （2）各委員会報告事項に対する質疑

- ・資料を事前送付いたしますので、ご確認いただき、理事会での各委員会からの報告は、重点事項や記載のない内容に絞っていただきますようお願いいたします。

#### （3）議事

- ①2021年度補正予算（案）について
- ②2022年度予算（案）について
- ③2022年度事業計画（案）について
- ④理事の推薦について

### 5. 閉会

次回理事会予定 第1回理事会 令和4年5月15日（日）10:00～  
場 所 千葉県社会福祉士会事務局会議室  
ZOOM 会議

【添付資料】

- ①別途ダウンロードデータ報告 - 転入報告 : 1 月 (承認不要)
- ②別途ダウンロードデータ退会承認対象者一覧 - 資料別途報告 (承認)
- ③別途ダウンロードデータ 2022~2024 代議員名簿 (立候補および選任) 0308-9 名 (承認不要)
- ④別途添付 excel データ - 2021 年度 (R3) 補正予算 (案) および ⑤2022 年度 (R4) 予算 (案)
- ⑥別途添付 word データ - 2022 年度 (R4) 事業計画 (案) 第 7 回理事会資料
- ⑦R3 選挙の実施について (別紙結果報告)

【理事会報告 1】

- ①転入報告 : 1 月転入者 1 名について、報告する

【理事会報告 2】

- ③2022~2024 代議員名簿 (立候補および選任) 0308-9 名について、報告する

【理事会報告 3】

- ④別途報告資料 (excel) - 2021 年度 (R3) 補正予算 (案) について - 榎林事務局長より報告

【理事会報告事項 2】

- ⑤別途報告資料 (excel) - 2022 年度 (R4) 予算 (案) および
- ⑥別途報告資料 (word) - 2022 年度 (R4) 事業計画 (案) について - 榎林事務局長より報告

【理事会決議・承認依頼事項】

- ②添付資料 5 - 退会承認対象者一覧参照 (PW 付)

2020 年度、会員会費管理情報に基づき、年会費未納者へ個別に納付書 (ゆうちょ銀行払込票) 及び文書での請求を 2 回 (6 月、12 月) 行ったが、入金及び連絡のないまま現在に至る

定款 8 条 (会員の資格喪失)

- (3) 正当な理由なく会費を 2 年以上滞納し、かつ、催告に応じないとき

以上の定款に基づき、添付資料 5 に記載の 2 名について 退会手続きの承認をお願いする

【理事会決議・承認依頼事項】

- ④2021 年度 (R4) 補正予算 (案) について承認をお願いする
- ⑤⑥2022 年度 (R4) 事業計画および予算 (案) について承認をお願いする

◇ 千葉県社会福祉士会会長職務執行状況 2022 年 1 月 24 日～2022 年 3 月 12 日

【活動報告】

- 1 月 28 日(金) 千葉県弁護士会貧困問題懇談会
- 2 月 1 日(火) 三役会(ZOOM)
- 2 日(水) 松戸事業打ち合わせ(ZOOM)
- 7 日(月) 千葉県総合支援協議会権利擁護部会
- 8 日(火) 選挙管理委員会(ZOOM)
- 11 日(金) 企画部会(ZOOM)
- 13 日(日) あり方検討会(ZOOM)
- 18 日(金) 福祉と司法の千葉県連絡会
- 3 月 4 日(金) 松戸市訪問(松戸事業)
- 6 日(日) 職員採用面接
- 7 日(月) 三役会(ZOOM)
- 10 日(木) 茂原市地域包括支援センター運営会議(ZOOM)
- 11 日(金) 外国人の生きる権利を考える集会

◇各種委員会等

【委員推薦】

○2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日 市原市社会福祉協議会 いちはら成年後見支援センター  
成年後見制度利用促進調整会議(旧名称 受任調整会議)出席者 朽名 高子氏

○2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日 松戸市  
松戸市介護保険運営協議会委員 宮本 哲男氏

◇その他の活動

○2022 年 2 月 27 日(日) 日本社会福祉士会 都道府県社会福祉士会災害担当者会議  
服部 明氏出席

○2022 年 3 月 8 日(火) 千葉県災害ボランティアセンター連絡協議会  
第 3 回千葉県災害ボランティア連絡定例会 山口 利史氏出席

書面へ変更○2022 年 3 月 14 日(月) 市川市役所 障害者支援課、介護福祉課  
市川市審判請求対象者検討会 吉田 愛子氏

○2022 年 3 月 15 日(火) 千葉県健康福祉部 障害福祉課  
令和 3 年度千葉県高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会 澁澤 茂会長出席予定

○2022 年 3 月 22 日(火) 千葉県健康福祉部健康づくり支援課

令和 3 年度第 2 回地域リハビリテーション協議会(オンライン) 前田 久美子氏出席予定

○2022 年 3 月 24 日(木) 千葉県社会福祉協議会 第 5 回理事会(来所又はオンライン)開催

澁澤 茂会長(オンライン)出席予定

○2022 年 4 月、6 月 千葉県児童家庭課

DV・児童虐待相談新任職員研修 澁澤 茂会長出席予定

**\*\*\*\* 会員情報 \*\*\*\***

2 月 28 日現在正会員:1,557 名(新入会:0 名、転入 0 名、退会 1 名、転出 0 名)、  
準会員 3 名、賛助会員 2 名

## 企画部会

### 【報告事項】

#### ア、世話人会義（企画部会義含む）

2月11日開催 テーマ：次年度体制

- ① 次年度部会員名簿更新（藤井加奈さん参加）
- ② 入会促進：3月の福祉道場を「新歓道場」として開催し各地域の世話人も紹介する。日本会作成の促進パンフを活用する。世話人不在地域や開催困難地域はZOOMでカバーし合ってなるべく早い時期に全地域で地域集会を開催し、新入会者が参加できるように努力していく（協力していく）。
- ③ 周知方法：会員全員へのメール配信を可能にしていくのを目指す。切手、宛名シールは1年間残す。
- ④ 他職能団体との協働：他の企画部会員にも参加してもらう（割り振る）。

#### イ、地域集会

##### 《実施》

- ・ 第八十七回『福祉道場』1月19日（水）19：00～21：00 ZOOM【辞典道場】～気になる言葉
- ・ 印旛合同地域集会 1月22日（土）10：00～12：00『コロナウイルス流行から私達が学んだもの①』

##### 《予定》

- ・ 第八十八回『福祉道場』3月16日（水）19：00～21：00 ZOOM【新歓道場】チラシ参照

##### 《課題》～前回と同じ

- ・ 地区No.⑧千葉市（稲毛区、美浜区）、世話人不在→他区でカバー。地区割変更、合区化案あり。
- ・ 世話人不在地区（1つ）：⑤木更津、君津、袖ヶ浦、富津地区
- ・ 今年度集会未実施地区5つ：①旭、香取、匝瑳、香取郡、銚子、③茂原、いすみ、夷隅郡、勝浦、長生郡、④安房郡、鴨川、館山、南房総、⑤木更津、君津、袖ヶ浦、富津、⑩船橋、鎌ヶ谷

#### ウ、他職能団体との協働研究

##### ①ソーシャルワーカー3団体協働事業

- ・ 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会シンポジウム「子ども・若者の支援」1月30日（日）13：30～17：00 千葉市生涯学習センター小ホールからZOOMで発信。

##### ②福祉と司法の千葉県連絡協議会

- ・ 3月19日木更津市中央公民館にて「自殺対策強化月間における全国一斉『暮らしとこころの相談会』」開催 服部理事、米沢章徳会員が参加予定。
- ・ 「貧困問題に関する懇談会」1月28日（金）18：30～20：00Zoom
- ・ 「福祉と司法の連絡協議会」2月18日（金）18：30～19：30Zoom

##### ③スクールソーシャルワーカー関連

- ・ 上記①シンポジウムに宮間SSW（シンポジスト）、神山SSW（モデレーター）として登壇

### 【検討事項】

（継続）千葉県社会福祉士会から会員へのメール配信について：他県の状況確認

### 【理事会決議・承認依頼事項】

なし

第 8 8 回福祉道場『新歓道場～こんな時代でオンラインだけど、すごいヤツらがここにいる!!～』 （千葉県社会福祉士会地域集会）

日時 令和 4 年 3 月 1 6 日（水）1 9 時～2 1 時

会場 インターネット上（Z O O M アプリを活用）

参加費 無料

問合せ 0 9 0 - 8 4 6 4 - 4 0 8 0 （山口）

事前準備

御参加いただける方は、「Z O O M」アプリのご準備をお願いいたします。

道場への参加申込は要りません。直接 Z O O M に御参加ください。

【参加の方法】

Z O O M ソフトから

ミーティング ID: 897 0040 7040

パスコード: 664543



【福祉道場とは】

そこに行けば、必ず近隣の福祉職人が集まっている、そんな場を作りたいと始めた【福祉道場】も今回でまる 1 5 年となります。福祉職人が集まり、情報交換をし、時に激論を交わし、時には新たな視点に気づく機会を得る、そのために数々の企画が生まれ、多くの門下生の参加をいただきました。今回の稽古は、社会福祉士国家試験の門を叩いた皆さんから疑問、想いをぶつけてもらい、福祉職人達がそれを受け止め全力で答える場を用意しました。ぜひご参加ください。



## 研修委員会

### 【報告事項】

#### (研修)

##### 基礎研修

令和4年2月6日(日) 基礎研修Ⅰ第2回 ZOOM 研修 講師堀江亜希子

田尻真人 参加者 53 名

令和4年2月12日(土) 基礎研修Ⅲ第11回 ZOOM 研修講師石山明子 参加者 43 名

令和4年2月20日(日) 基礎研修Ⅱ第10回 ZOOM 研修講師石山明子 参加者 34 名

##### 基礎研修講師養成研修

令和4年2月11日、12日 ZOOM 研修

修了者 小野寺浩、田尻真人、竹村葉子、矢戸孝紀

##### 第5回コアメンバー会議

令和4年2月12日(土) ZOOM 会議

出席：田尻・堀江・浅見・矢戸・佐藤

##### 協議事項

理事会報告・1/20の全体会の振り返り・基礎研修を終えて・2022事業計画その他

## ぱあとなあ千葉

【添付資料】なし

【活動報告】

2021 年度第 7 回運営委員会【2022 年 3 月 3 日（木） 16:00～18:00 分（ZOOM）】概要

◆出席者（運営委員（14 名/15 名）：石橋・今川・越後谷・太田・岡本（書記）・小川・朽名・倉下  
佐野・四ノ宮・長尾・古澤・武藤・吉田

### I 報告・連絡事項

#### □部会・担当報告

- ・委員長：第 6 回理事会（1 月 23 日）の概要報告（2022 年度事業計画の承認、負担金規則改廃提案の承認）、報酬助成金の支給、相談申込票（登録員用）の WEB サイト掲載、全体会開催（3 月 12 日）等、報告。
- ・研修：今年度の必須登録員研修、千葉サポート、人材育成研修等、各研修の開催実績等、報告。
- ・コーディネート：2 月末までの推薦依頼件数（約 465 件、前年度に比べ大きく増加）等、報告。
- ・業務管理：個人面談の実施状況、2 月の活動報告書提出状況等、報告。
- ・報酬助成：報酬助成の支給、1 月以降の申請状況、制度の今後の検討事項等、報告。
- ・ICT 関連：登録員管理、研修申込、活動報告等の ICT 化の検討状況等、報告。

### II 議事

#### 1 報酬助成申請案件の助成可否の審議

- ・1 月以降の申請 3 件。1 件は申請要件満たさず。1 件は、自治体報酬助成審査請求検討予定のため保留。1 件は、次年度初回の審査会審査とすることに。

#### 2 今後のぱあとなあ千葉の運営事務及び財源について（継続協議）

- ・前回の運営委員会において、運営委員長より、最近の後見人等の推薦依頼件数、受任件数の増加等に伴う運営事務量の増加に対し、運営事務の見直しとともに、運営事務経費（人件費等）の増大に対する財源確保方策として以下の提案あり。今後、広く議論し、検討していくことに。
- ・「受任会費」の用途の拡大（現在は、報酬助成に限定。これを後見人等受任に関わる運営事務費用にも充当可とする）。
- ・「受任会費」納付の上限の撤廃（現在は、従来の「負担金」を踏襲し、30000 円（受任件数 15 件×2000 円）を納付額の上限としている）。

#### 【意見】

- ・報酬助成目的の受任会費の用途拡大という提案は唐突。丁寧な経緯、理由の説明が必要では。
- ・具体的に、どのような経費にどの程度使うのかを明確にした上で提案すべき。
- ・他都県の「受任会費」相当負担金の紹介があったが、その用途も調べて参考としたらよい。
- ・社土会の一般財源とぱあとなあ千葉の負担金（名簿登録料、受任会費）でどのような経費、どう負担するかの仕分けが必要なのではないか。
- ・一般の登録員は、運営委員会事業及び事務の具体的内容、業務量、負担等がわからない。その理解をしてもらうことが必要なのでは。



以上

3 登録員に対する相談支援体制について（協議）

- ・週 2 回の電話相談は継続するが、これに加え、メールで相談申込を受け付け、曜日・時間帯を柔軟にした形の電話相談体制を創る試みをスタートする。
- ・今年度は、電話相談減少しているが、今後も、上記の試みも含め、相談支援体制の充実策について検討していくことに。

以上

【添付資料】

資料1：第3回司法福祉委員会議事録

資料2：料金表

【報告事項】

2021年度 第3回司法福祉委員会を開催した（資料1）

2022年度の認定研修について、例年通り千葉県弁護士会との共催で行う。

受講人数を増やすために、会場とZOOMのハイブリッド研修を予定している。

【理事会決議・承認依頼事項】

刑事司法ソーシャルワーカーの料金表を【参考】資料として添付しましたが、今まで弁護士会からの依頼を受任した方にお渡ししていました。あくまで参考資料として渡し弁護士と相談して決めている。

この料金表を内規として承認して頂きたい。

2021 年度 第 3 回司法福祉委員会（ZOOM）議事録

日 時：2022 年 2 月 19 日（土）10:00～12:00

出席者：宮下、大浦、多田、松丸、足立、渡邊、青沼、小川

欠席者：川上、吉田、越後谷、鉢金、宮崎、保田

議題：2021 年度事業報告と 2022 年度事業予定

1、2021 年度事業報告

①委員長挨拶（宮下）

- ・今回、初 ZOOM 委員会開催。コロナが収まらない限り、ZOOM 委員会を行う予定。
- ・理事会では他委員会で赤字になっている部分を、会全体の委員会で補填したい方針である（社会福祉士会全体で黒字になるように）。
- ・外部講師の料金は納得できるが、委員から参加している講師の費用が外部講師と同額はどうなのかという意見があった。
- ・ICT 委員会では「神奈川県社会福祉士会」を参考に、千葉にも導入できないかと模索している。
- ・川上担当（認定研修担当、会計）を今後は青沼も担当できるようにする。
- ・次年度も宮下が委員長継続する予定であり後継者を育てていく。

②研修会報告（小川）

- ・小川：事前送付ファイル（研修報告書）を参照
- ・宮下：3 年に一度の認定機構への研修内容変更の時期と重なった。また、今回急ぎょ ZOOM 研修へ変更となり認定機構への書類訂正に時間がかかり研修案内が遅くなってしまった。
- ・多田：弁護士との共催となっているが、今後は「協力」「協賛」といった形にしてはどうか？（弁護士会場は無料だが、、、）
- ・大浦：ZOOM と会場の両方開催が可能なら、今後も共催で行いたい。マッチング支援は弁護士からの依頼なので、今後もこの形がよいと思う。「共催」だから遠藤弁護士も ZOOM 設定などを積極的に行ってくれたのではないかな。
- ・宮下：「（共催）だから講義の中身を見させてもらいたい」と遠藤弁護士から意見をもらった。今後は、遠藤弁護士や他の弁護士とも連携を図っていく必要がある。

<基礎編・応用編に参加した委員より>

- ・足立：研修委員として何もできなかったことが申し訳ない。研修の内容は大変良かった。自分自身、再度学びなおす必要があると思えた研修であった。
- ・松丸：スタッフの大変さを痛感した（当日の ZOOM 設定等）。研修に参加して、新しい情報を自分の中に取り入れることができた。とても勉強になった。今後、事例検討会の開催を希望する。施設見学なども必要だが、今回の研修のように色々と変化する新

しい情報や流れを、自分も取り入れていく必要があると感じた。

・(委員の 1 科目 1000 円の受講費は?): 妥当じゃないか。安い受講費で委員だけが受けていいものか、ということも感じた。

・宮下: 登録員のブラッシュアップとして聴講してもらいたいという希望もあったので、1000 円という料金設定にした。足立さん、松丸さんには、今後の登録員の刺激となるよう、受講した感想を 800 字程度で書いていただきたい。

### ③マッチング支援 (多田)

・多田: 2 月現在で 10 件の依頼があった。更生支援計画書の依頼が多いが、「障害の手帳を持っていない」など依頼や、困難ケースの依頼もあった。

・宮下: 受任者が望めば ZOOM やラインなどを利用した「アドバイザー会議」を開催してはどうか。

#### <料金表について>

大浦: この料金表で固定するのではなく、あくまでも参考にしてほしい。金額の根拠を問われても(例えば理事会等)回答が困難。金額を入れずに提示したい。内規となると、この金額が残ってしまう。

・宮下: 下部に注意書きを入れてはどうか(「参考でありケースによって変動がある」など、内容の重厚さがあるケースの更生支援計画は加算あり等記載)

・多田: 新規受任者へは、料金表、報告書、実施要領の 3 点をセットで渡している。料金表どおりの金額を、弁護士からはもらっていない状況ではある。

・宮下: 注意書きを入れ、理事会でも通るようなサンプル料金表を作り、理事会に図る。

### ④学習会報告 (渡邊)

・渡邊: 「定着の勉強会」は 14 名(委員 6 名)参加。ZOOM 開催とはいえ会場設定等、委員の協力も必要。参加者、委員も含め、20 名ほどが妥当ではないか。

・渡邊: 「千葉刑務所の勉強会」はコロナのため中止となる(次年度に予定)

・宮下: 今後は社会福祉士会のアカウントを使用した勉強会を開催する(個人のアカウントは使用しない)

・渡邊: 積極的に勉強会に参加、運営企画してくれる委員が必要(渡邊さんが主に担当しているが、渡邊さんも忙しく、体調も影響してしまう)

・「マッチングを受けたい」という登録員の勉強会(事例検討会)もやってほしい。

(「登録はしているが、いつ支援依頼がくるかわからない」という不安に対応できるような事例検討会も必要)

・事例検討を勉強会として開催するのではなく、「事例検討会」として登録員全員が学べる ZOOM 研修としてはどうか。

・渡邊: 今後、事例検討会の学習会も開催(そのためには委員の協力も必要)。

登録員のレベルアップにもつながる。

## 2、2022 年度事業計画

### ①委員会年間予定

- ・宮下：司法福祉委員会      第 1 回 6 月 18 日(土)      第 2 回 9 月 17 日(土)  
第 3 回 12 月 17 日(土)

### ②認定研修予定

- ・宮下：基礎編 7 月 23 (土) 24 日 (日)      応用編 1 月 21 日 (土) 22 日 (日)
- ・大浦：ZOOM と会場開催の両方ができれば、次年度は困難事例などを取り入れた事例演習を行いたい。

### ③マッチング支援

- ・多田：本日配付資料の「マッチング依頼書」は、前回、司法福祉委員会で承認してもらっている。その後、1ヶ所変更しており、療育手帳の程度を追加した。
- ・多田：今現在は弁護士が依頼書に手書きで記入しているが、今後はデータで渡して入力してもらってはどうか（手書きだと読めないことも）
- ・多田：受任者からの相談は、現在、大浦さん、吉田さんの 2 名が主に担当している。相談できる人を増やすなどして、2 人に負担が集中しない体制をつくっていききたい。また、受任者が、気軽に相談できるような相談方法が必要ではないかと考えている。
- ・受任者との相談やり取りを今後、ZOOM やラインを使った方法で開催してはどうか。
- ・大浦：弁護士から依頼が来て「マッチング支援依頼書」を渡しているが、事前に弁護士会の HP などに依頼書を載せてもらうことができるか？事前アピールが必要ではないか。
- ・松丸：料金表も弁護士会 HP などに載せてはどうか。  
→宮下：理事会通して料金表を検討し、遠藤弁護士と相談してみる。

### ④学習会予定

- ・渡邊：次年度は 2 回を予定していたが、今回延期になった分（千葉刑務所）を含め、3 回とする。
- ・渡邊：第 1 回 6～7 月、20 名内で予定（会場は改めて探す）。  
刑務所への報酬は不要、とのこと。  
第 2 回 9～10 月、千葉ダルクを予定。  
第 3 回 2～3 月、「更生保護施設」を予定。講師への謝礼は 1 万円、委員の交通費等は 5000 円を予定している。

以上（議事録作成：小川）

## 千葉県社会福祉士会刑事司法ソーシャルワーカー 料 金 表

(\*これは目安であり、ケースによって変動あり)単位：円

項 目				単 価	回数等	計
初回相談料				5,000		
面会料				5,000		
情状証人出廷等				15,000		
行政手続き申請・調整・ケア会議等				5,000		
「更生支援計画書」作成料				15,000		
同行支援				10,000		
文書料				5,000	上申書、委任状、同意書	
その他調整等						
通信費・旅費交通費・コピー等実費					小 計	
		↔				
		↔				
		↔				
		↔				
		↔				
		↔				
		↔				
		→				
		→				
		↔				
		→				
		→				
		→				
		↔				
		↔				
合計						

\* ケースにより変動とは、支援計画書（1枚から20枚に及ぶものがある）や関係者会議（1回から数回に及ぶものがある）等、いずれもケースにより回数と時間あるいは困難で他問題を抱えた場合などにより判断する。

【添付資料】

なし

【報告事項】

○都道府県社会福祉士会 災害担当国会議

出席者 服部明災害対策副委員長

日 付 令和 4 年 2 月 27 日（日）

内 容

- ・「これまでの日本社会福祉士会の取り組み」と災害支援に係る法制度について
- ・県士会からの報告
  - ①静岡県社会福祉士会
  - ②広島県社会福祉士会
- ・意見交換
- ・総括

【理事会決議・承認依頼事項】

なし

【報告事項】

1 点と線発行の進捗

第108号発送について 3月末 発送



- ▶特集「ソーシャルワーカーを動かした体験」
- ▶社会福祉士のわ
- ▶拡大地域集会報告 ～生活支援コーディネーター編～
- ▶事業と予算あり方検討委員会からの報告
- ▶事務局便り

2 令和4年度 点と線発行年間予定

	109号	110号	111号
編集会議	4月中旬	8月上旬	11月下旬
原稿締切	5月下旬	9月下旬	1月上旬
入稿	6月下旬	10月下旬	2月下旬
同封物原稿締切	6月末	10月末	2月末
事務局へデータ入稿			
発送	7月下旬	11月下旬	3月下旬

【協力依頼】

収益確保に向けて 点と線への広告掲載を募集しております。

広告掲載を検討してくださる事業所等に相談の連絡を入れたいので、4月中旬までに山口まで紹介してほしい。

一般社団法人千葉県社会福祉士会 広告募集掲載要綱

	機関紙「点と線」	
	(1) 広告掲載	(2) 配布物同封
発行時期	7月下旬、11月下旬、3月下旬	
配布方法	(紙面) A4版12頁 (配布先) 会員、関係機関、福祉事業所 (部数) 郵送(会員1000部、関係機関1500部) メール約500部	
掲載内容	誌面一部(表紙下部、裏表紙下部)に掲載 ※約3000部(各号の広告枠は全8枠) 1枠横4.5cm×縦5.0cm	会員宛て発送物に同封 ※約1000部(2)①A4 1枚 ②冊子(25g以内)
掲載料	1枠1回表紙11,000円 裏表紙10,000円	①A4 1枚 5,000円 ②冊子(25g以内) 1冊 25,000円 (定形外120→140円×1000部+収益分)
広告原稿	広告枠のデザインをPDFデータで提出	印刷物1000部を指定の場所へ提出すること
提出期限	掲載号発行月の前月の1日まで	発行月の1日まで